

令和6年6月吉日

趣意書

拝啓

貴社におかれましては、ますますご繁栄のこととお慶び申し上げます。

このたび、一般社団法人日本実験動物技術者協会（以下、実技協）は、盛岡市動物公園 ZOOMO（以下、ZOOMO）様と共催シンポジウム『動物のケアとたずさわるヒト、つながる、つなげる、その先へ』を、2024年8月30～31日の2日間、ZOOMOにおきまして開催することになりました。

実技協は、実験動物科学の一翼を担う実験動物技術者の全国的な組織です。会員の多くは、私たちの生活に欠かせない医療や製薬、その他多くの生命科学の発展に寄与している実験動物とかかわる業務に従事しており、実技協では実験動物福祉の向上、動物実験の適正化、技術の発展をめざして活動しています。

昨今では、実験動物業界にとどまらず、動物に携わる他分野の組織の研究者や技術者とも交流をはかり、動物福祉や獣医学的管理をはじめ、その他多くの共通性からヒントを得つつ、視野を拡げて活動しております。

このたび共催いただく ZOOMO 様は、動物福祉や人材育成に力を入れた施設や組織のリニューアルを果たし注目されている施設の一つです。特に現場のスタッフ自身や大学との連携により実践的に行われているエンリッチメントやハズバンドリートレーニングは、実験動物業界においてこれから取り組まなければならない重要なテーマです。先進的な取り組みについてシンポジウム参加者が現地で体感できる機会は非常に有益です。

また、それぞれの業界の将来を担う人材育成の点でも、現場における共通する課題の解決につなげていくことができると考えています。例えば、動物のケアに携わる飼育者や獣医師が抱える共感疲労が挙げられます。現場の技術者や獣医師は、毎日真摯に動物と向き合うことにより受ける精神的なダメージについてどう対応していくか今後の大きなテーマになると考えています。さらに、動物の疾病予防や感染症対策などではお互いの経験や技術を共有することで解決できる点が多々あると考えます。

本シンポジウムでは異分野におけるそれぞれの強みや共通の課題をいくつかピックアップし、講演、グループワーク、現地見学会などのプログラムを企画しました。交流を通して新たな人的なネットワークができることでさらなる発展も期待できます。現地開催を中心としつつ一部のプログラムはオンラインも用いた構成にしたいと考えておりますので、遠方の実技協会員のみならず ZOOMO 様が加盟する日本動物園水族館協会関係者など、興味をもっていただける多くの方々に積極的にご参加いただけることを願っております。

なお、シンポジウムの運営にあたり別紙予算案を立てました。つきましては、貴社の本シンポジウムに対するお力添えをいただき、成功へ導きたいと考えております。何卒、事情をご賢察の上、上記趣意にご賛同いただき、ご協賛を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

【担当者と関係者】

理事長 中野洋子（帝京科学大学）

人材育成・教育研修部 橋本直子（京都大学ヒト行動進化研究センター）

同上 渡邊利彦（中外製薬株式会社）

同上 安野 航（岩手医科大学医歯薬総合研究所）

同上 若松真矢（株式会社新日本科学）

実験動物福祉部 部員

奥羽支部長 高橋智輝（岩手医科大学医歯薬総合研究所）

【収支予算案】

収入	項目	詳細	単価	数量	金額	備考
参加費	区分A	実験動物関係者	2,800	30	84000	※入園料含
	区分B	動物園関係者	2,800	20	56000	※入園料含
	区分C	学生	1,800	5	9000	※入園料含
	区分D	実験動物関係者（オンライン）	1,500	40	60000	
	区分E	動物園関係者（オンライン）	1,500	30	45000	
	区分F	学生（オンライン）	800	10	8000	
	協賛金			10,000	2	20000
収入計					282000	
支出	項目		単価	数量	金額	備考
	講師関連（謝金、旅費、懇親会費）		110,000	1	110000	
	共催費用（各種イベント雑費）		15,000	1	15000	
	入園料（1日目のみ団体申請 800円×57名）		800	57	45600	
	雑費（PassMarket手数料含む）		13,000	1	13000	
	役員派遣関連（旅費、会議費）		98,400	1	98400	
支出計					282000	